(3)タマネギ優良品種候補「北見交3号」について

北見農業試験場　普通作物科

1.はじめに

近年、北海道のタマネギ栽培も単一の固定種[1)]を栽培する時代から複数のF_1品種を使い分ける時代に入りつつある。ここに紹介する「北見交3号」は収量性・貯蔵性・耐病性に優れ、既存の固定種やF_1品種と配合して道東地方のタマネギ栽培地帯への速やかな普及が期待できる北見農試育成のF_1系統である。

2.育成経過

多収でかつ高品質・高貯蔵性・耐病性を有することを育種目標に、米国ウィスコンシン大学より導入した乾腐病抵抗性[2)]の雄性不稔系統[3)]「W420(78-1)A」を種子親とし、「札幌黄(竹中系)」から選抜された自殖系統[4)]「KMS7320-12M_3」を花粉親として育成された単交配[5)]一代雑種で、昭和56年より生産力検定試験、57年より現地試験を行ってきた。

3.特性の概要(「北見黄」との比較)

種子特性・初期生育には差異がない。草姿は著るしく直立し、葉形の異常[6)]も少ない。肥大期はやや早いが、倒伏・枯葉期は5日程度遅く、特に生育の遅れる年次・地域では10日程度遅れることもある。肥大性が良く規格内率[7)]も高いため総収量・規格内収量とも20%程度上まわり、不良気象年にも安定している。球形は地球型であるが球形指数[8)]はやや小さい(「フラヌイ」程度)。皮色は黄銅色で変わらず皮ムケはしにくい。球の揃いは優る。乾腐病、軟腐病[9)]に対して強い。貯蔵性は、発芽や萌芽が遅く、極めて良好である。

4.普及態度

網走および十勝管内を対象とし、晩生であるため「北見黄」程度の中生種や他の早生種と配合して栽培し、長期貯蔵向けとする。

普及対象地域における「北見黄」との比較

試験場所	年次	早晩性			耐病性		収量性					貯蔵性
		肥大期(日)	倒伏期(日)	枯葉期(日)	乾腐病(%)	その他(%)	規格内球重(kg/10a)	同左比	総収量比	規格内率(%)	平均一球重(g)	健全率(%)
北見農試(沖積)	56	+1	+7	+4	-2.5	+3.1	531	123	99	+17.8	+8	+16.4
	57	-2	+5	+5	-4.3	-0.2	673	132	123	+6.4	+30	+42.0
	58	-5	+6	+9	-5.2	-7.7	755	165	153	+6.3	+41	
北見農試(洪積)	57	-3	+3	+10	-1.2		612	130	123	+4.2	+38	+43.0
	58	-2	+7	+7	-0.2		429	140	136	+1.1	+39	
北見市	57	-2	+9	+6	-0.8	±0	674	100	98	+2.3	-8	+13.7
	58	-4	+6	−	±0	-13.5	686	136	127	+7.0	-7	
留辺蘂町	57	-3	-2	-1	-3	-0.2	612	97	97	+0.4	-19	+11.7
	58	+1	+3	−	-0.5	-8.2	705	150	127	+14.3	+32	
常呂町	57	+2	+6	±0	-1	-2.3	610	112	106	+4.9	-21	+4.7
	58	−	+8	−	±0	-5	296	111	103	+4.8	-7	
芽室町	57	+1	+1	±0	-2.2	-2.2	744	110	106	+5.0	-11	−
	58	-2	+2	±0	-6.1	-0.5	448	180	181	-0.6	-5	
平均		-1.5	+4.7	+4	-2.3	-3.3	598	125	121	+5.6	+8	+12.9
(対フラヌイ)		-2.3	+5.3	+1.8	-0.1	-1.1	511	117	118	-1.0	+22	+9.0

注)規格内球重平均値は「北見黄」477、「フラヌイ」511、「北見交3号」598　kg/a

1)「札幌黄」のように同一品種内で相互授粉によって維持される品種。

2)乾腐病は一般に「尻ぐされ」と呼ばれている土壌病害で、この病害に対して強いことを意味する。

3)一般に、テンサイなど他家授粉性の作物でF_1品種を育成する時に、花粉を形成しない観系統と花粉を形成する花粉親系統を組み合せることが多い。

「北見交3号」の場合

W420(78-1)A　×　KMS7320-12M_3

(雌生不稔系統)　(花粉親系統)

↓

北見交3号

(F_1)

4)F_1の両親となる系統を育成する時に、自家授粉を何回か操り返して均一にすることが多い。KMS7320-12M_3の場合は2回の自家授粉を行なった。

5)2つの親系統間の交配。

6)葉のねじれ、波うちなど形態的な異常。

7)（規格内球重　総収量）×l00・規格内とは、皮ムケ(外皮がむけた球)、球の形態の異常などを除いた球を指す。

8)（球の高さ　球の直径）×100・数値が高いと長球、低いと扁平球と呼んでいる。90～100がほぼ球の形状に近い。

9)バクテリア(*Erwinia Carotovora*)による病害で、葉や球が何敗して悪臭を放つ。貯蔵病害としても重要。

目次へ戻る